

川崎駅北口通路で「Saori VIEW in Kawasaki Sta.」を開催します！ ～公共空間利活用の取組～

川崎駅周辺地区では、広告事業等の規制緩和により生まれた新たな財源を施設の適正な維持管理に還元・再投資するとともに、駅前広場や自由通路などの公共空間を地域に開き、より居心地が良く、歩きたくなる空間としていくため、試行的な取組として、各種イベントなど、にぎわい創出の取組等を継続して行っています。

この度、公共空間である川崎駅北口通路の利活用の一環として、アート作品の展示やAR（拡張現実）を活用した川崎の玄関口としてふさわしい公共空間の活用手法を検証する取組を実施いたします。なお、川崎の地域経済活性化の一助に向けて、開催中は、コロナウィルス感染症の対策を図りながら、様々な手法での公共空間の有効活用方法の可能性などについて、市民の方々のニーズ把握のための調査等を実施します。

日にち 令和4年3月26日（土）～4月24日（日）

場所 JR川崎駅北口通路（一部、川崎駅前タワー・リパーク1階ギャラリーで特設展示）

2 具体的な取組内容について

①北口通路におけるユニバーサル織り機「SAORIアート」の展示

「かわさきSDGsゴールドパートナー」認証事業者である「NPO法人studioFLAT」と連携し、川崎市内のスポーツチームの廃棄フラッグや企業から出される廃棄予定の布等をユニバーサル織り機により「SAORIアート」として再生し、北口通路に展示します。

また、期間中特設会場として川崎駅前タワー・リパーク1階ギャラリー内にユニバーサル織り機を設置し、市民の方々にSAORIアートを体験いただける取組を実施します。

②北口通路におけるAR（拡張現実）を活用した情報発信の検証

川崎を訪れて最初に目にする場であり、かつ、多くの通行者が行き交う北口通路において、場所の特性をいかし、広く効果的に情報発信を行っていくために昨今の社会情勢を踏まえた情報発信の手段としてAR（拡張現実）の活用可能性を検証します。

通行者等の自身のスマートフォンのカメラ機能を介して、「SAORIアート」や他のアート作品を拡張現実の世界で体験できる取組を実施します。

【問合せ先】

川崎市まちづくり局拠点整備推進室
担当：沖山 電話 044-200-2752

多様性の眺めが川崎駅北口に!

Saori VIEW in Kawasaki Sta.

2022 3.26 sat - 4.24 sun



川崎ならではのさをり織り「Saori Art」が川崎駅北口通路を彩ります。
プロジェクトに共感してくれた市内のスポーツクラブや企業から出た布の廃材を、
さまざまな立場の市民が横糸として使えるように裁断して、
障がいのある方たちを中心にして織られた特別なさをり織りがSaori Artです。

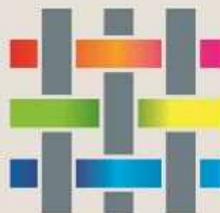
廃棄予定だった布を市民の共同作業で蘇らせ、
サスティナブルなまち“川崎”を象徴するアート作品として展示する
Saori VIEW in Kawasaki Sta.

2022年春川崎駅に多様性の眺めが出現します。

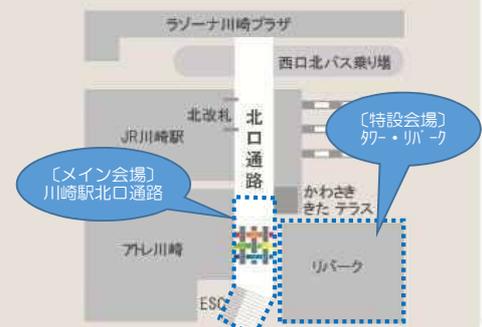


AR(拡張現実)で
見たことのない眺めも
体験できる!

差を織る。多様性を織る。川崎を織る。



**Kawasaki
Saori Art**



川崎駅北改札を出て右側歩いて1分

Saori VIEW in Kawasaki Sta.

2022 3.26 sat - 4.24 sun

「Kawasaki Saori Art」プロジェクト

〈プロジェクトの流れ〉

川崎市内のスポーツクラブや企業などから布廃材の提供



布廃材をさをり織りに織り込めるように裁断してアーティスト (studio FLATなど) がSaori Artを制作



川崎駅北口通路での展示



展示に使った「Saori Art」を製品化して販売



～ さをり織りとは ～

「さをり織り」は日本で生まれた誰もがすぐに来て、楽しめる自由なスタイルの織物。

今日も障がいのある方々を含めた様々なアーティストによって、色鮮やかなさをり織りが生まれています。

しかし、障がいのある方々の報酬、賃金レベルは依然として低く、そのクオリティ、作業時間に対して十分な対価は得られていないのが現状です。

ここで生まれたさをり織りにさらなる息吹を吹き込み、

作品としての価値を高めていきたいと考えてスタートしたのが

「Kawasaki Saori Art」プロジェクトです。

さをりの名前の由来は「差を織る」です。いろいろな立場の方が暮らし、

多様性こそがエネルギーのまち“川崎”。その多様性を持ち寄り、

1枚のさをり織りに織り込み、川崎を応援する気持ちを

「Kawasaki Saori Art」の活動を通して表現しています。

AR(拡張現実)を体験する「Saori VIEW」

ARで見たことのない眺めを体験

北口通路内の様々な箇所に設置された

ARを起動するマーカー(画像)を

ご自身の携帯電話で読み込むことで、

通路の中に拡張現実が生まれます。

通路中央にさをり織りの羽が現れたり、

通路壁面にアート作品が現れたり、

施設の案内が動き出したり、

新しい眺めを体験できます。



「通路の壁に美術館が出現!？」



「浮世絵が動き出す!？」 「駅周辺のイベント情報をキャッチ!」



特設会場「RiverK GALLERIA PARK」

〈開催日時〉

3月26日(土)・27日(日)11時～18時

〈開催場所〉

川崎駅前タワー・リパーク1階ガレリア(エントランス)

〈開催概要〉

ユニバーサル織り機による「SAORI アート」体験^{※1}や SAORI プロジェクトに携わったメンバーによるパネルディスカッション^{※1}の他、川崎図書館と連携した「持ち寄り図書館^{※2}」や「読み聞かせ会」、川崎浮世絵ギャラリーと連携した「アートに触れるワークショップ」を開催いたします。

イベント開催期間中はガレリア内に人工芝を設置して、“GALLERIA PARK”として開放し、本を読んだり、コワーキングスペースとしての活用可能性を検証いたします。

※1:3月27日(日)のみの開催。

※2:開催期間中、芝生スペースに市立図書館のリユース本を並べています。これらの本をガレリア内で自由に読むことができます。また、気に入った本があれば、持ってきた本と交換で、持ってくることもできます。



(NPO 法人 studio FLAT 提供)

〈「SAORI アート」体験〉